# みんなの活躍応援事業【福島県福島市】

### 地域の実情と課題

【実情】 ●福島市の審議会等への女性委員参画率 目標値40% 現状値35.1%(今和4年4月時点)

- ●民間企業における女性管理職の割合 18.1%(今和2年7月時点)
- 18.1%(令和2年7月時点 ナルサが働きやオル理論:

【課題】 女性が働きやすい環境づくりや多様な働き方の推進が 必要。

### 事業の特徴

- ●業種・年齢・経験年数が異なる受講生がグループワークを通して、自社が抱える課題を共有し、解決策を模索しながら、 受講生が理想とする働き方・生き方を実現するために今後取り組むことを発表する。
- ●働く女性応援認証企業、包括連携協定企業から多様な働き方 や生き方の考え方を学ぶ。

### 事業の効果

受講者数について、当初の目標値(30名)に対し、新型コロナウイルス感染症の影響により、14名の参加であったが、最終回の発表会では、受講生の上司など(15名)に聴講いただき、受講生(社員)が感じている課題を一緒に考えることで問題意識の共有を図る機会となった。 発表内容は市HPやSNSで公開し、業種を超えた企業の課

題や取り組みについて全市的に共有することができた。

### 目的•目標

【目的】 働きやすい環境や仕組みを学ぶと共に、キャリアアップ、キャリア・デザインの実現、ダイバーシティの考え方を育成する。

【目標】講座受講者数 目標:30名 実績:14名
※新型コロナウイルス感染症により人数減

### 連携団体

- ●福島市働く女性応援認証企業(コバックス株式会社)
- ●包括連携協定企業(あいおいニッセイ同和損害保険)
- ●ふくしま田園中枢都市圏

### 今後の課題

この講座でワーク・ライフ・バランスの考え方を学び、自社の課題が見えてきたが、それを改善できるための社内の協力体制、時間の制約など様々な壁があり、社員だけでは実現が難しい状況である。誰もが活躍できる働きやすい職場環境の実現に向けて、管理職や経営者への働きかけを進めていく必要がある。

### みんなの働き方会議 ~わたしたちと会社のWin-Winな関係~

<**日程> 第1**回 令和4年8月23日(火) **第2**回 令和4年9月27日(火) **第3**回 令和4年10月14日(金) **第4**回 令和4年11月18日(金)

<講師> まちづくりファシリテーター 稲村理紗さん 株式会社ペンギンエデュケーション代表取締役 横田智史さん

**<受講者数>** 14名(10社)

<発表内容> ワーク・ライフ・バランス実現のために、解決すべきポイント

#### I ノウハウの共有(属人化の解消)

- ◇仕事の「見える化」
- ◇仕事の「効率化」
- ◇社員の「人材育成」

#### Ⅱ コミュニケーションの活性化

- ◇職場の雰囲気づくり
- ◇世代間ギャップの解消
- ◇ツールの活用

#### Ⅲ 仕事と育児の両立

- ◇家庭内での役割
- ◇柔軟な勤務体制
- ◇設備面の整備









## 女性の起業チャレンジ応援事業【福島県福島市】

### 地域の実情と課題

【実情】 女性の労働力(福島県内と福島市内で比較)

な働き方の推進が必要である。

→離職者の1割が出産・育児を理由としている。

【課題】家事・育児・介護については、依然として女性がその 多くを担っており、女性が働きやすい環境づくりや多様

# 目的•目標

【目的】起業するために必要な知識の習得、女性起業家や同じ考えを持つ女性同士とつながる機会を作ることで、 女性活躍の場を広げる。

【目標】講座受講者数 目標:30名 実績:46名

### 事業の特徴

起業した先輩たち(姉さん)が起業にチャレンジしたい女性 (妹さん)を応援する「ふくしま起業女子応援パッケージ」とし て事業を展開する。

・記業姉妹カフェ

- ・手耒を展開する。 ・チャレンジ講座
  - ・プチインターンシップ ・お試しワンデー起業

### 連携団体

- ●福島駅西口インキュベートルーム
- ●包括連携協定企業(主に東邦銀行、福島信用金庫)
- ●ふくしま田園中枢都市圏
- ●日本政策金融公庫
- ●福島商工会議所

## 事業の効果

- ●受講者数について、目標値30名としていたが、46名が受講し、起業を目指す方の意欲的な姿勢が見受けられた。
- ●プチインターンシップでは、のべ11名が起業姉さんの仕事場で仕事の流れや接客を学ぶことができた。
- ●この事業がきっかけとなり、起業姉さん同士、受講生同士で 新たな交流や情報交換をおこなう自主的なネットワークが生 まれており、女性活躍に向けた起業の輪が広がっている。

### 今後の課題

起業を目指す方へきめ細かいサポートができるよう、今年 度の初級者向けに加え、今後は中級者向けの講座や、プチイ ンターンシップ受け入れ回数の増加、お試しワンデー起業の 規模拡大など、起業実現に向けた支援を充実していく必要 がある。

#### [チャレンジ講座・起業姉妹カフェ]

事業名 姉妹のようにつながる起業チャレンジ

**実施日** 9~10月(計6回)

内容 [チャレンジ講座](3回)

(自分自身の振り返りや知識の習得)

[起業姉妹カフェ](3回)

(起業姉さんとの交流[相談・仕事場見学])



**講師** ∘キャリアコンサルタント 重巣敦子さん

- 。中小企業診断士 相馬由寛さん
- 。福島市内の女性起業家

**受講者数** 46名





#### [プチインターンシップ]

補助スタッフとして起業姉さんの店舗等で接客や仕事の流れ や方法を学ぶ。

**実施日** 11~2月(計9回)

内容 作品制作の手伝い 商品の什込み 接客、店舗清掃等

体験者数 のべ11名



#### [お試しワンデー起業]

実際の店舗運営における実践・体験により、起業する分野・ 業種の社会的役割やニーズを把握する。

**実施日** 12月

※創業支援交流会会場にて出店



体験者数 1名

(数秘セラピーセッション)

事業番号

# 働く女性応援企業認証事業【福島県福島市】

総事業費 交付金額

547 千円

1,094 壬円

地域の実情と課題

福島市労働条件等実態調査によると、福島市内企業の女性管理職の割合は18.1%(R2)・18.9%(R3)と上昇しているものの、その一方で、職場における仕事の内容や待遇面での格差を感じている社員は男女共に多い。

目的·目標

女性の雇用継続・管理職登用の推進・男女共に働きやすい職場環境づくりに取り組む市内企業を認証し、その企業と取り組み事例を広く公表することで、福島市企業のイメージアップ、地域社会への波及効果を促し、女性の活躍するまちづくりの推進を図る。数値目標:新規認証企業数 10社/年

### 事業の特徴

男女共に働きやすい職場環境づくり等への取り組みを積極的に行う中小企業を独自の基準で認証する。

#### 【認証基準】

・労働基準法、男女雇用機会均等法等関係法令に基づく就業規則を整備し、必要な措置を行っている。・仕事と家庭が両立できる職場づくりに関する取り組みを行って

・仕事と家庭が両立できる職場 りくりに関する取り組みを行うでいる。 等 さらに、認証企業の中でも特に積極的に取り組みを行う企業を ゴールド企業として認証し、地域社会への波及効果を促進する。

事業の効果

そろそろ働きたい女性のための就活準備セミナー開催時に、認証企業女性社員より仕事と家庭両立に関する経験談等の発表を行ったところ、参加者の約8割がためになったとアンケート回答した。また、認証企業数の増加とともに、福島市内企業の女性管理職の割合が17.5%(R元)・18.1%(R2)・18.9%(R3)・19.5%(R4)と年々増加しており、取り組み内容等の公表による地域社会への波及効果がその一因となっているものと思われる。 令和4年度 新規認証企業数 :12社

ゴールド認証企業数: 4社

連携団体

・福島商工会議所

·ふくしま田園中枢都市圏(福島市、二本松市、伊達市、本宮市、 桑折町、国見町、川俣町、大玉村、飯舘村)

### 今後の課題

認証企業やその取組内容等をより多くの人に知ってもらうため、 情報発信の方法を検討する。認証企業の認知度を上げ、企業の 取り組み内容を広く発信することで、市内企業への波及効果を更 に高め、また、求職者から選ばれる企業となることを目指す。

- ①働く女性応援企業認証申請の募集
- 募集チラシの配布
- ・福島市就職応援ポータルサイト「えふWORK」への掲載
- ・企業訪問の実施
- ②働く女性応援企業認証式の実施
- ・認証書、認証プレートを市長より贈呈
- 各事業所より取り組み内容を発表
- •令和4年度新規認証企業数 :12社 ゴールド認証企業数: 4社
- ③認証企業名・取り組み内容の公表
- ふくしま市政だよりへの掲載
- 福島市就職応援ポータルサイト 「えふWORK」への掲載











- 女性社員で「女性のイチ オシ委員会」「ジョシフ

#### 医療法人慈正



- 子育で中の職員に対し、
- ることができるよう、従 業員に対し【子育て応援 宣言】を行う。

#### 株式会社山川印刷所



- 長期休業社員が職場復帰 する際、就業時間や就業 日を柔軟に設定可

#### 株式会社大丸工務店



年休の時間単位取得可

NO.18

- 経産省【健康経営優良法 人2022 (ブライト500) 】
- 【治療と仕事の両立支援 制度】導入

869 千円

交付金額

## 地域の実情と課題

結婚や出産、介護などで離職した女性が再就職を考えた時、ブ ランク等による不安からためらいを感じていることが多い。一方、 人手不足の状態にある市内企業が多く、一旦離職した女性も重 要な働き手となっている。

### 目的•目標

本格的な就職活動を始める前に知っておきたい知識をまとめた セミナーを開催し、就職活動に対する不安を払拭する。さらに、参 加者同士の意見交換会を行い、女性同士で働くことに関して感じ ている悩みや不安を共有することで、仲間づくりのきっかけや情 報交換の場とする。 数値目標:セミナー参加者 50名

### 事業の特徴

事業番号

働きたい気持ちは持ちながらもブランク等による不安から、なか なか一歩を踏み出せないでいる女性をスムーズに再就職へと繋 げるために、就職活動を始める前に知っておきたい知識をまとめ たセミナーを開催し、再就職への不安払拭と意識醸成を図る。

### 連携団体

- •福島労働局
- ・ふくしま田園中枢都市圏(福島市、二本松市、伊達市、本宮市、 桑折町、国見町、川俣町、大玉村、飯舘村)

### 事業の効果

4部構成でセミナーを実施し、第1部「就職前に知っておきたいお 金の話」参加者へのアンケートでは、回答者全員が「とてもため になった」又は「ためになった」と回答した。また、回答者の約 80%がセミナー参加により、働くことに前向きになった又は実際 に仕事探しをする気になったと回答し、セミナー受講により不安 払拭と意識醸成のきっかけづくりを行うことができた。

セミナー参加者数:25名

### 今後の課題

令和4年度実施のセミナーでは、再就職を目指す女性を主な対 象としていたが、女性が抱えている状況や課題は多岐にわたっ ており、多様な側面から支援する必要があるものの、市内女性の ニーズを把握しきれていない。

### そろそろ働きたい女性のための就活準備セミナー''わたしらしくはたらく''

#### 【第1部】就職前に知っておきたいお金の話

- ・働き方と扶養の範囲のはなし(配偶者控除や社会保険制度について等)
- ・これからかかるお金や将来へ向けた貯蓄のはなし 等

【第2部】どうやって仕事をさがす?サポート機関紹介 ハローワーク・マザーズコーナー、ふるさと福島就職情報センター窓口担 当者から、利用方法やより有効に活用するためのコツ等を紹介

【第3部】福島市働く女性応援認証企業女性社員トークイベント 実際に子育てをしながら働いている女性社員から、両立のために工夫し たことや、会社の制度を利用した経験談等を紹介

【第4部】先輩教えて!!ゆるっとワークショップ 仕事と家庭を両立させながら働いている先輩女性を交えた意見交換会。 働くことに関する悩みや不安について気軽に話し合う。





